

一般質問

答えて市長！ 一般質問

今定例会では、3月16日(月)、17日(火)、18日(水)の3日間にわたり11名の議員が市政全般について、市の見解をいただきました。

主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。

会議録は、ホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は、6月上旬となる予定です。



ゆき た
雪田 きよみ 議員

住宅火災被害者への 支援の充実を



問 火災被害者に対する市の支援内容は。

答 火災発生時、担当課職員は昼夜を問わず直ちに現場に駆け付ける。被災者や避難者個々に被災状況等を伺い、受けられる制度や手続きを記した書面をお渡ししている。宿泊施設利用を希望する方々には、協定している近隣の宿泊施設の予約等を行い、日用品等の提供や衣類・食料等の支援は社会福祉協議会が担っている旨案内している。

問 被災した方は何の過失もないのに一瞬のうちに全てを失い、非常に混乱し疲弊し、不安の中にいる。生きていくためにお箸一本、下着一枚、靴下一枚買うところから生活を立て直していかなければならない。見舞金制度が必要ではないか。

答 被災者が生活の再建に歩み出していけるように、更なる後押しに繋がるような支援の検討作業を既に始めている。これまで行ってきた宿泊・食料品・衣類等の支援以外に、有効な支援制度をつくっていけないかと今検討作業を行っている。被災直後が一番苦しく、その一番苦しい時を支えていくような支援制度を考えていきたい。

かとう かつあき
加藤 克明 議員

被災をされた方々に 災害見舞金制度の創設を



問 火災直後に生活手段を失った被災者へ、即日支給可能な見舞金や緊急生活資金の創設・拡充を求む。

答 現時点で独自の見舞金制度の創設は考えていないが被災者の不安軽減と生活再建を後押しする新たな支援制度については検討作業を進めている。

問 既存制度の即日対応化を図るべきではないか。

答 社会福祉協議会が窓口の緊急小口資金は上限3万円で即日対応が可能である。

問 住宅確保のため県営住宅・民間賃貸住宅の優先入居枠確保や移動支援の充実を求む。

答 県営住宅の一時使用制度は案内しているが、民間住宅の優先枠確保は考えていない。市はビジネスホテル1週間の宿泊と送迎については対応している。

問 衣類・日用品等の現物支給や医療費減免の強化を求む。

答 日本赤十字社や社会福祉協議会と連携し物資提供を行い、医療費減免制度についても案内・周知している。

おおいずみ ひでお
大泉 日出男 議員

なまず養殖の次なる一手を



問 現在当市では、なまず養殖がされているが何年前から始まり、年間出荷量はどのくらいで主な出荷先はどんな所があるのか伺う。

答 稲作を行っている農事組合法人が、平成8年度より養殖施設の整備を始め開始。年間出荷量は2トンで、主な出荷先は市内の料亭などの飲食店。

問 視察先である岡山理科大学での「好適環境水」を利用した陸上養殖の効果は、今までの手法や伝統を大切にしながら、同時に新たな手法で地域全体を活性化することができる。今までの産業の伴走支援を加速し、設備に使われる水等を運用する企業、雇用の創出、産業立地の促進、商業の回復等様々な可能性が秘められている。吉川市農業パーク基本構想の実現にも大きく貢献ができると考えるがご所見を伺う。

答 好適環境水を使用したなまずの陸上養殖は、新たな魅力ある提案であり、今後、事業参加を目指す事業者が現れた場合は、事業の実現可能性や継続性を踏まえ、情報交換等を行ってまいりたいと考えている。